

能登半島地震におけるJRAT活動報告

春日部厚生病院

埼玉県地域リハビリテーションケアサポートセンター
東部圏域担当

理学療法士 城 真介

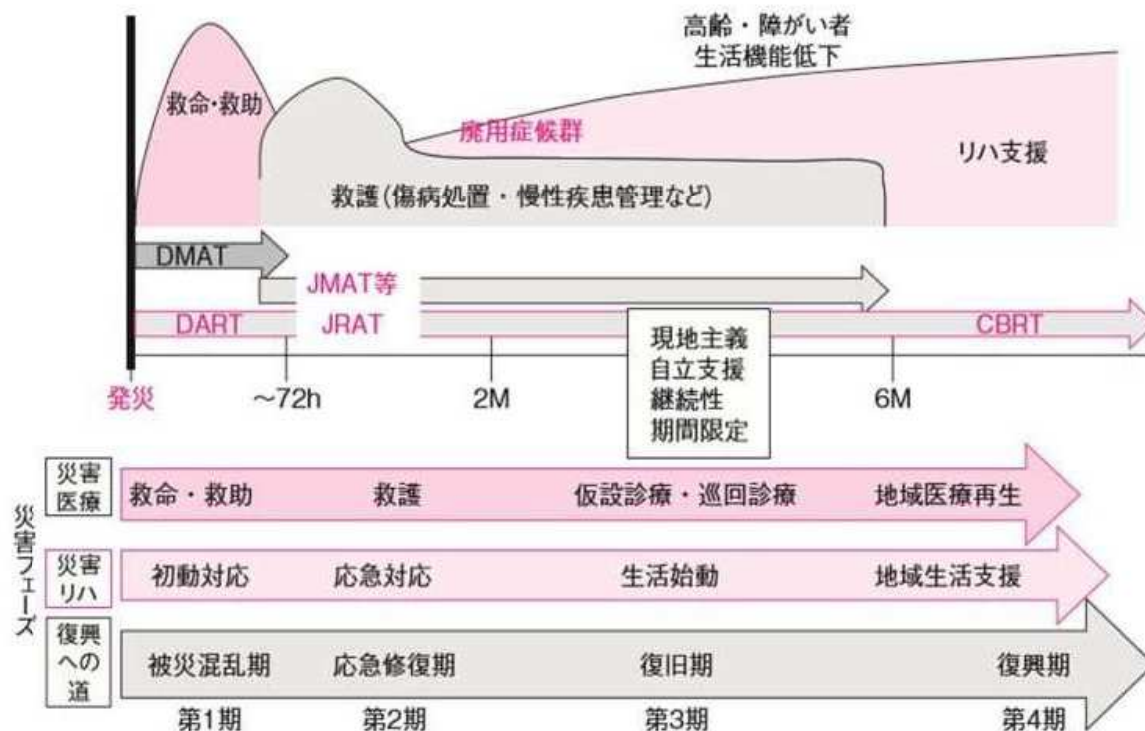
災害リハビリテーション

被災者・要配慮者などの災害関連死や生活不活発用を防ぐために、リハビリテーション 医学・医療の視点から関連専門職が組織的に支援を展開することで、被災者・要配慮者 などの早期自立生活の再建、復興を支援する活動のすべてをいう。

- ①被災後の医療・福祉・介護が継続できるように支援する
- ②虚弱高齢者、要介護者、障がい者へのリハビリテーション支援
- ③新たな生活環境への適応を支援し早期の自立した生活を促す
- ④関連死等の二次被害の予防
- ⑤現地スタッフのサポート



福祉用具業者と一緒に避難所の手すり設置をしている様子



JRATについて



**JAPAN DISASTER
REHABILITATION
Assistance Team**
一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会

東日本大震災を契機に活動を開始

(一社)日本災害リハビリテーション支援協会
(設立:2020年4月法人化)

(1) 目的

大規模発災時、避難所等へ速やかにリハ職を派遣・活動できる体制を構築し、生活不活発病等や災害関連死を予防することで、早期に災害を乗り越え、自立した生活の再建・復興を実現する。

(2) 事業内容

- ・発災後のリハビリテーション支援活動
- ・災害リハビリテーションにかかる支援チームの組織化・人材育成など

JRATパンフレットQRコード→



埼玉JRATについて

代表: 医療法人真正会 齊藤正身理事長

(1) 構成団体

埼玉県理学療法士会
 埼玉県作業療法士会
 埼玉県言語聴覚士会 など

(2) 事務局

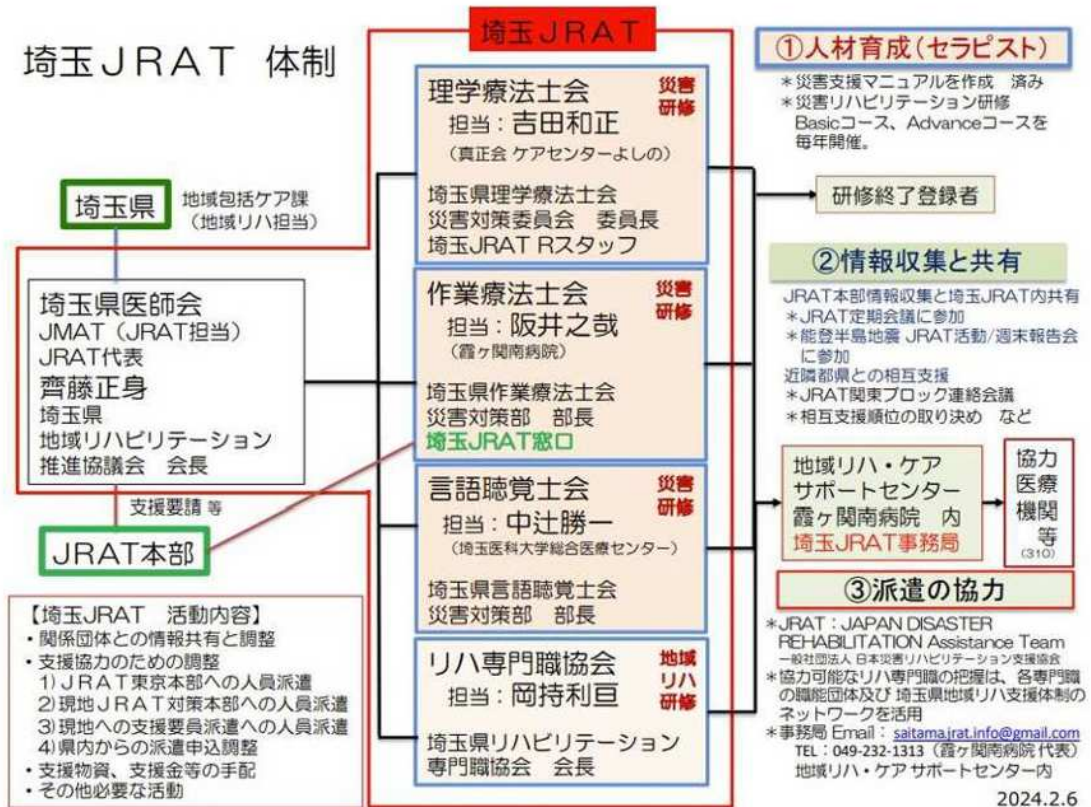
医療法人真正会 霞ヶ関南病院内
 (川越市安比奈新田283-1)

(3) 基礎研修修了者数

・235名 理学療法士 146名
 作業療法士69名
 言語聴覚士20名

(4) 支援実績

・H28年 熊本地震 1チーム派遣
 ・R元年 台風19号 JRAT本部へ1名派遣(後方支援)
 ・R6年 能登半島地震 10チーム派遣(R6年3月末時点)



避難所環境と環境整備



生活不活発予防の実際



活動と連携

